

# まちの話題

話題のニュースやイベントなどを紹介!

f ロゴがある記事はフェイスブックでも公開中 (右記コード参照)。



## f 晴れ着でにっこり 障害者のための写真撮影会



5月20日、ラポールひらかたで障害がある女性15人による着物での写真撮影会が開かれました。市内在住のカメラマン樺井良祐さん(49歳)が障害を理由に着物を諦める人が多いことを知り、大阪府立大准教授の松下由美子さん(48歳)とともに着物約30着の寄付を集めました。当日はボランティア31人が杖を外した女性を支えるなどサポート。出口遥さん(28歳)は「本格的な振袖は初めて」と笑顔でした。

## f 米寿目指し奏でる四重奏 くらわんかカルテットが日本ハーモニカ賞



市内を中心に活動する男性4人組のハーモニカ楽団「くらわんかカルテット」が第39回日本ハーモニカ賞を受賞しました。全日本ハーモニカ連盟がハーモニカの普及に貢献した団体に贈るもので、平成12年から高齢者施設など260カ所以上で公演を行い、今も毎月の演奏会を続ける活動が評価されました。リーダーの山本義信さん(79歳、写真左)は「米寿(88歳)を目指して頑張りたい」と力を込めました。

## おいしいお米になあれ

6月5日、桜丘小5年生90人が田植えを体験しました。食農体験学習の一環で、子どもたちは村野西町にある中口武さん



(69歳)の田んぼに集合。「苗の根っこを3本の指で持ってしっかり埋め込んで」と説明を受け、泥に足をとられながらも、もち米450株を植えました。片山ひかりさんは「手をどのくらい入れたらいいのかが難しかった」と話しました。植えたもち米は10月に刈り取り、12月の校区恒例の餅つき大会で使われる予定です。

## f 菅原神社にくまモン登場

5月28日、菅原神社(長尾宮前1)でヒラカタ縁joyカーニバルが開催され



ました。東部の企業やお店など21団体が出店。祭りでは珍しい耳つぼマッサージもあり大いににぎわいました。長尾中ブラスバンド部の演奏中にはくまモンが登場し、同校生徒と一緒に「恋ダンス」を踊ると子どもたちは大喜び!主催者の平井武司さん(46歳)は「笑顔になるイベントを続けたい」と話しました。

## f マタニティ期を幸せに

7月14日から楠葉でイベント

妊婦さんや家族に幸せな気持ちになってもらうための「命をつなぐマタニティイベント」が7月14日～19日にくずはアートギャラリーで開かれます。市内在住のボディペイントアーティスト加籠六侑樹（かごろくゆうき）さん（写真中央）らの企画で、妊婦さんのおなかに絵を描いたマタニティペイントの写真やオムツを使ったダイパーケーキの展示をはじめ、楽しいイベントも。「地域の人とつながり不安を取り除いて」と加籠六さん。詳細は<http://facebook.com/maternitycharms/> 参照。



## f 花の成長が楽しみ

御殿山神社で「紫陽花まつり」

御殿山神社で6月11日、「御殿山紫陽花まつり」が開かれ25本のアジサイが境内に植えられました。地域住民らでつくる「御殿山神社を愛する会」が中心になり、平成22年から毎年植樹しているもので、約40種類700本が元気に育っています。タマネギや豆などの朝市や人形浄瑠璃の上演もあり、数年ぶりに参加した親子は「自分で植えたアジサイを見守れるのはいいですね。花の成長が楽しみです」と話しました。



平成22年  
10月10日

## 大ホールで結成10周年コンサート



▲客席いっぱいの観客と大いに盛り上がりました。

「生まれ育った枚方の、枚方市市民会館大ホールにて、結成10周年の2010年10月10日に行った時の一枚。デビューしたくて離れたのに、戻ってきた時、温かく迎えてくれた街。故郷は、一つしかないから、節目に帰って来られてよかった。僕らも枚方市の70周年に負けないように、20周年、30周年を迎えていきたい」。



枚方ゆかりの著名人の皆さんが秘蔵の写真とともに思い出を語る新コーナースタート！

## 第1回 アンダーグラフ



平成11年結成のロックバンド。デビュー曲「ツバサ」やアニメ「弱虫ペダル」のエンディング「風を呼べ」のヒットで知られる。枚方市PR大使。

## 広報課職員の 編集後記

里山特集の取材で国見山へ。暑さとの戦いを覚悟して行きましたが、山の中は思ったよりも涼しく快適でした。ひこぼ

しくんも元気いっぱい、すれ違う散策者とハイタッチする場面も。彼のいろんな表情を撮ることができました(^^)！